

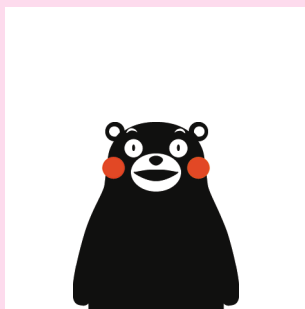
# 1

## 視覚障がいについて

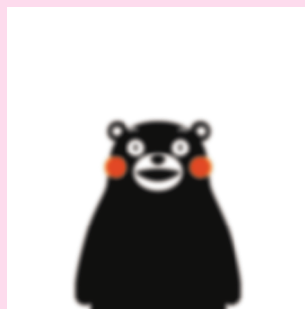
視覚障がいは、全く見えない状態(全盲)と見えづらい状態があります。  
見えづらい場合の中には、

- 細部がよくわからない
- 光がまぶしい
- 暗いところで見えにくい
- 見える範囲が狭い
- 特定の色がわかりにくい などの場合があります。

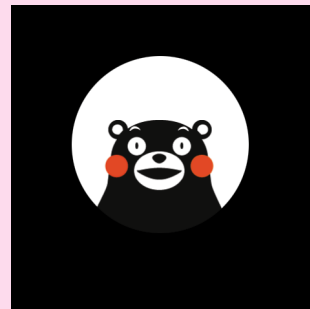
### 視覚障がいのある方の見え方の例



正常な見え方



細部がよくわからない



見える範囲が狭い

じ

## 事例

### 例1 外出先で

私は視覚障がい者で白杖を使用しています。慣れた場所では一人で自信を持って歩くことができますが、初めて行く場所や交差点などの危険が多い場所では周囲の状況が分からず不安でいっぱいです。

## こ

### んな配慮をお願いします

視覚に障がいのある人が困っている様子のときは、「何かお手伝いすることはありますか?」「ご案内しましょうか?」などの声かけをお願いします。その際は、背後から突然体に触れたりせず、できるだけ前方から声を掛けるようにしましょう。

